

資 料

情報システム委員会の活動報告*

藤田 壽憲**

*平成 26 年 7 月 9 日原稿受付

**東京電機大学, 〒120-8551 東京都足立区千住旭町 5 番地

1. はじめに

情報システム委員会は、大きくつぎの二つのことを目的に設置されている。

1. フルードパワー工学および技術に関する情報の収集・分析とそれらの研究者・技術者への提供
2. ホームページを含む学会の情報システムに関する事項の企画および、運営と管理

情報システム委員会という名称からは具体的な活動はわかりにくい。会員の皆様が目にするところでは、1 番目の目的達成のために会誌に「会議報告」を掲載している。2 番目に関してはホームページの情報更新を行っていると言うと、役割がわかっていただけるであろうか。今年 45 巻 2 号 (2014 年 3 月号) では米国・フロリダで開催されたフルードパワーと運動と制御に関する国際シンポジウム (ASME/ Bath Symposium on Fluid Power and Motion Control) や、機械学会関東支部・精密工学会共催による山梨講演会など、国内外で行われたフルードパワー工学の研究発表の情報を提供している。また各委員会からホームページへの掲載依頼があった情報を吟味し、適切な掲載ホームページ位置やわかりやすい掲載方法について検討を行っている。これらは定常的な活動であるが、目につかない部分も含めて、現在、課題となっている学会の情報システムの問題に取り組んできた。2 章では、この近年の活動状況について報告する。

2. 近年の活動状況

2. 1 ホームページのリニューアル

2013 年 7 月にホームページのリニューアルを実施した。前回のリニューアルは学会 30 周年の事業として十年以上前に行われた。この間に種々の情報が付け加えられていったため、わかりにくい階層構造となっていた。またリニューアル前は情報量が多く、階層も深かったため得たい情報が見つけれなかった。そこでリニューアルではデザインを一新するとともに、「欲しい情報がすぐに得られる」ことを目指した。これを具現化するために以下を実施した。

- ・ポータル (入口) 機能の充実
- ・3 階層を 2 階層に変更
- ・情報の厳選

近年、種々のホームページでは情報を素早く得るためにホームページのポータルの工夫がなされている。それらを参考として本学会でも図 1 に示すようにポータル機能の充実を図った。ホームページには多様な人がアクセスすることが考えられる。その訪問者により得ようとしている情報も異なる。そこで訪問者別に入口を設け、そのボタンをクリックすると訪問者が得たいと予想される情報をリンクするページを設けた。さらに、よくアクセスするであろう「春季・秋季講演会」や会員ページへの「会員ログイン」のボタンを設けることにより利便性を高めている。一般にリンクの階層は 2 階層が使いやすいとされている。これに対しリニューアル前のホームページは 3 層構造であった。またホームページ内の情報の中には重要度が低かったり、重複して掲載したりしたものもあった。このためページによっては古い情報が更新されないままになっていた。そこで情報を厳選し、階層を 2 階層に変更した。

2. 2 会員情報管理システムの改善

2010 年に 40 周年事業としてフェリカ機能付きの会員証が発行され、ホームページに会員ページが新設された。同時に、春季・秋季の講演会の申し込みも web 上から行えるようになり、講演会当日の受付で参加申

込み状況がオンラインの最新情報で確認していることは会員の皆さんもご存じのことと思う。これらも情報システム委員会の活動の成果である。この際に、従来はオフラインで市販のデータベースソフトで会員情報を管理していたものを、オリジナルのプログラムを業者に委託して開発し、これを用いて管理するように変更した。これにより会員ページから各会員が登録情報を確認変更することができるようになった。この会員管理情報システムを発展させる活動は現在も継続しており、ここ数年でつぎの機能を盛り込んだ。

- ・ web による入会受付
- ・ 会員への一斉メール
- ・ 会誌発送先管理

従来は紙媒体で入会を受け付け、事務局で会員情報を入力していたものを、web から入会者が情報を登録し、その情報が学会事務局にメールで届くようにした。入会者の多い 4 月など事務局の労力が軽減されたと聞いている。これまでの会員への一斉メールでは Google Apps を利用しており、メールアドレスの登録・変更・削除は、事務局が手動で行っていた。会誌発送先の管理および送付用ラベル印刷も会員情報管理システムとは別で行われ、会員情報管理システムの情報が変更される都度、手動で修正されていた。これらをすべて会員情報管理システムの画面上から操作できるようにした。作業を自動化するとともに、会員情報はタイムラグなく最新のものとなっていることから、メールおよび会誌を正確に送付できるようになった。現在も、会費納入履歴管理や会員数を算出するなど機能の拡充を図っている。

2. 3 学会活動記録のデジタルアーカイブ化

学会創立から 40 年を過ぎ、会誌をはじめとする学会活動記録の情報は非常に多くなっている。これらは紙ベースで学会事務局に保存されてきたが、会誌や講演論文集などの一部は、学会にも冊子がない状態になっていると聞く。また会誌だけでも 250 号を超え、いずれ保管スペースの問題も出てくるものと思われる。このような背景から情報システム委員会では学会活動記録である会誌、講演論文集および講座・セミナーテキストをデジタルアーカイブ化することとした。会誌については印刷データが残っている 32 巻 7 号 (2001 年 11 月号) 以降のデータを、講演論文集と講座・セミナーテキストについては 2012 年以降に開催・発行されたものを pdf ファイルで保存している。デジタルアーカイブ化とともに会誌については会員サービスの一環として、会員ページから pdf データがダウンロードできるようにしている。いずれ講演論文集についても最新のものを除いて会員ページに公開したいと考えている。

過去のものについては紙ベースの情報しかない。これを単にスキャナで取り込んだアーカイブ化では文字情報が検索できず、学会の記録保存としては不十分と考えている。テキストデータをページに埋め込む必要があるが、OCR による文字認識では精度は低く、その精度をあげるために人手をかけると相当の費用が掛かる見込みである。このことを勘案して過去の活動記録のデジタルアーカイブ化について検討している。また将来的にはアーカイブ化された情報を会員に公開し、検索できるデータベースの構築も視野に入れている。

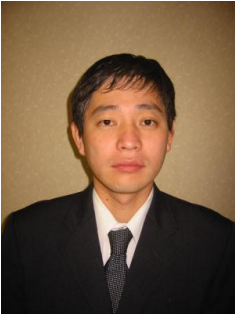
3. おわりに

このほか、情報システム委員会では学会事務局のパソコンをはじめとする情報機器、ネットワークの管理・運営にも関与している。実際の業務は委託しているものの、今年春には Windows XP のサポート終了に伴う機器の更新や、ひかり電話の導入による経費削減などを行った。

以上、近年の情報システム委員会の活動を報告した。これらの活動を、2014 年度からは田中豊 (法政大) を委員長、巖祥仁 (東京工大) を幹事として、一柳隆義 (防衛大)、小山紀 (明治大)、川上幸男 (芝浦工大)、久保田浩、小藪栄太郎 (苫小牧高専)、藤田壽憲 (東電機大)、野口恵伸 (KYB(株)) の 9 人で行っている。

最後にお問い合わせがあるが、ホームページをはじめとするよりよい情報システムを構築していくためには、会員の皆さんからのフィードバックが必要だと感じている。「ホームページにこんな情報を掲載して欲しい」、「会員ページにこんな機能があったらいいな」など、要望があれば、ぜひ、情報システム委員会 (joho-ml@jfps.or.jp) 宛てにお寄せください。

著者紹介



ふじた としのり

藤田 壽憲君

金沢大学大学院修士課程修了。その後、金沢市技術員、石川職業訓練短期大学校（現：石川能力開発短期大学校）講師、東京工業大学助手を経て、2002年より東京電機大学工学部助教授、2004年より教授となり、現在に至る。その間、流体計測・制御(主に空気圧)の教育・研究に従事。日本フルードパワーシステム学会、日本機械学会、計測自動制御学会などの会員。博士(工学)。

E-mail : tfujita@mail.dendai.ac.jp



図1 リニューアルした学会ホームページのポータル部